

## 臨床研究に関する情報公開

「術前化学放射線療法導入後の膵癌治療成績の検討」へのご協力をお願い

### 当院の研究責任者

外科 田端正己

### 他の研究機関および各施設の研究責任者

なし

### 研究の対象

2014年1月～松阪中央総合病院外科で浸潤性膵管癌に対し、手術治療をうけられた方

### 研究目的・方法

膵癌(浸潤性膵管癌)の治療成績は極めて不良であり、膵癌と診断されても切除できるのはその半数に満たず、また診断後の5年生存率は10%未満にすぎません。この難治性の膵癌の治療成績向上を目指して、当院では2014年から特に進行例を対象として術前に抗癌剤と放射線照射を行う術前化学放射線療法を導入しました。術前化学放射線療法の導入により膵癌の治療成績がどのように変わったかを検討するのが本研究の目的です。

### 研究に用いる試料・情報の種類

検査所見やカルテ記載、病理組織所見等の診療情報

### 外部への試料・情報の提供

ありません

### 個人情報の取扱い

研究に使用する情報から個人を特定できるものは削除します。学会および論文発表において対象者を特定できる個人情報は一切使用しません。

### 研究資金源・利益相反

ありません

### お問い合わせ先

0598-21-5252 田端正己